

令和3年度地域を支える人材育成事業
「地域連携強化事業」実施報告書

学校番号	32	学校名	大曲農業高等学校	(全・定)
		記載者職・氏名		

実施した内容について次のとおり報告します。

テーマ	大仙市農業振興情報センター研修生との相互交流
実施日時	令和3年11月9日(火) 13:30~15:10 令和3年12月16日(木) 13:30~15:00
場所	令和3年11月9日(火) 大仙市農業振興情報センター 令和3年12月16日(木) 大曲農業高等学校
参加人数	生徒32名
実施内容・状況等	<p>相互交流は、新規に就農を考えている大仙市農業振興情報センター研修生（以下、研修生）と、本校で将来農業に関わろうと考えている生徒の意見交換などを行う機会として、2回実施した。本来は、4回予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、回数を減らしての実施になった。</p> <p>1回目は、農業振興情報センターの研修制度の説明及び視察研修を行った。前半は、所長からの説明の他、研修生から農業に関わることになった経緯についてお話していただくなどして、質疑応答形式で行った。後半は、研修農場について見学した上、説明していただいた。</p> <p>2回目は、研修生を含めた4グループでのグループワークを行い、本校生徒が発表した事前に立ててきた将来設計に対し、研修生または他の生徒からの助言等を受け、より具体的で現実的な将来設計になるよう意見交換の形式で行った。</p>
成果と課題	<p>今年度は、将来、農業に関わることを希望している生徒が多く、例年以上に参加者が集まった。交流会においても、質問や相互の助言に積極的な生徒が多く、例年以上に盛り上がりを見せた。</p> <p>1回目は、会議室での説明時は緊張して質問も少なかったが、歩きながらの説明でもあるためか積極的に質問したり、冗談を言ったりと笑顔で会話ができていく様子が見えた。最初の交流としては、良い雰囲気で見送ることができ、次回の意見交換に良い形でつながった。</p> <p>2回目における相互交流後のアンケートによると、ほとんどの生徒が、「漠然とした目標が具体化され、経営に向けた知識などを得ることができた」といった感想を持っており、一定の効果があったと考えられる。具体的には、次のように多くの生徒が研修を通じて様々なスキル等が身に付いたと実感できていることが分かった。</p>

※ 取組ごとに作成すること。

新聞記事の写しや実施状況を撮影した画像(4枚程度)を様式4に貼り付け、添付ファイルとして提出すること。

一つの画像データは、200KB以下にすること。

実施後、1か月以内に提出すること。

令和3年度地域を支える人材育成事業
「地域連携強化事業」実施報告書

※一つの画像データは、200KB以下にすること。

学校番号	32	学校名	大曲農業高等学校	(全・定)
記載者職・氏名				



(相互交流初回の自己紹介)



(研修生が管理している温室紹介)



(研修所内の見学と説明)



(相互交流2回目のアイスブレイク)



(相互交流2回目の意見交換)



(相互交流2回目のマイライフプランの発表)